

下方放出型簡易自動消火装置

スペースシュッパ―

【HP-3F・HP-1.5F】

(財)日本消防設備安全センター評定合格品

取扱説明書

このたびは、弊社の自動消火装置「スペースシュッパ―」をお買いあげいただきありがとうございました。

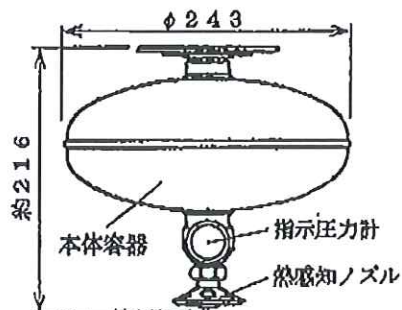
この自動消火装置は、一般火災・台所火災・油火災が発生した場合、熱感知ノズルが火災の発生を感知し、消火薬剤を放射して消火する下方放出型簡易自動消火装置です。

正しく安全にご使用いただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。

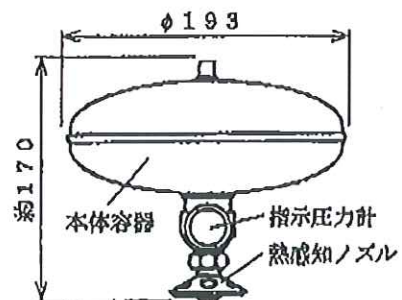
お読みになった後は、この取扱説明書を大切に保存しておいてください。

消火装置各部の名称

(HP-3F)



(HP-1.5F)



仕 様

型 式 記 号		HP-3F	HP-1.5F
型 式 番 号		評13-060号	評13-067号
種 別		下方放出型簡易自動消火装置	
適 応 火 災		一般火災・台所火災・油火災	
消 火 薬 剤		第3種粉末 3.0 kg	第3種粉末 1.5 kg
感 知 温 度		72℃	
放 射 時 間		約5秒	約3秒
総 質 量		約4.9 kg	約2.7 kg
公称 防護 面積	一般火災	2㎡	1㎡
	台所火災	1㎡	1㎡
	油火災	2㎡	1㎡
使用温度範囲		-30℃~+40℃	
寸法	高 さ	約216mm	約170mm
	外 径	φ243mm	φ193mm

設 置 要 領

▲ 警告

◎ 本体容器・熱感知ノズルの先端まで圧力が常時かかっていますので、絶対無理な力や強い衝撃を与えないでください。

1. 熱感知ノズル・本体容器の取付位置

- 防護したい場所の真上が原則ですが、照明器具等がある場合は少し離して取付位置を決めてください。防護面積は1台あたり2㎡または1㎡です。それ以上の広さを防護する場合は、下記の計算により取付台数を増やしてください。

$$\text{取付台数} = \frac{\text{防護面積 (㎡)}}{2 \text{ ㎡または } 1 \text{ ㎡}} \quad ※ \text{少数点以下は切り上げます。}$$

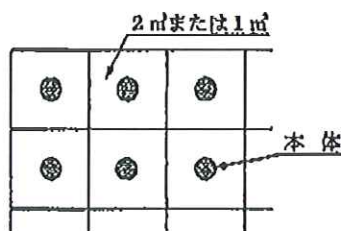
- 熱感知ノズルの取付高さは一般居室等の場合、防護面積2㎡または1㎡において床面より2.5mを基準としています。(図1参照)

▲ 注意

◆ レンジに消火装置を取り付ける場合は、弊社の自動消火装置「キッチンレオ FHL10KまたはFHL-4N」を販売店または弊社営業所にお求めください。

- ◆ 消火薬剤は、ノズルから約60度の円錐状パターンで放射されます。(図1及び図2)
- ◆ 熱感知ノズルを一般居室等に取り付ける場合は、火元と予想される場所の上に、確実に取り付けてください。
- ◆ 地震や振動等で本体容器が落下しないような場所に取り付けてください。
- ◆ 湿気の多い場所、水しぶきのかかる場所、直射日光のあたる場所には、取り付けしないでください。
- ◆ 消火装置に表示されている使用温度範囲(−30℃～+40℃)内の場所に設置してください。使用温度範囲外で使用すると、満足な性能を得られない場合があります。
- ◆ ボイラー室等で、+40℃以上の高温になる場所に消火装置を取り付ける場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所にご相談ください。

一般火災および油火災(ボイラー室等)の複数設置例



- 防護面積2㎡または1㎡の中心に設置してください。

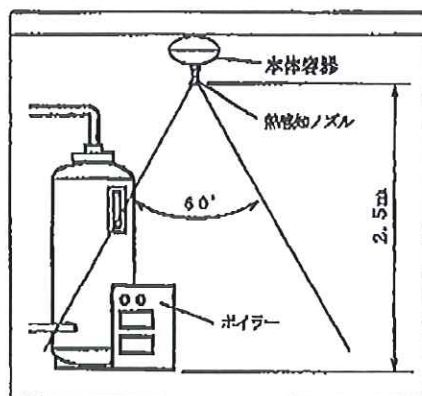


図1

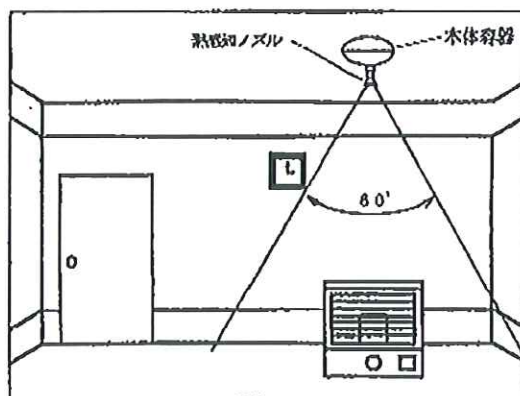


図2

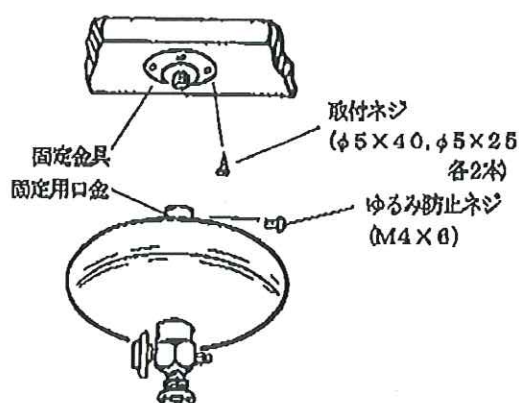
2. 本体容器の固定方法

▲ 注意

◆ 天井より約4.9 kg (HP-3F) または約2.7 kg (HP-1.5F) の重量がかかるので、必ず固定金具 (HP-3F用・HP-1.5F用) を使用して堅固なハリ・コンクリート部に確実に固定してください。固定金具の取り付け方は『固定金具の取付例』を参照してください。

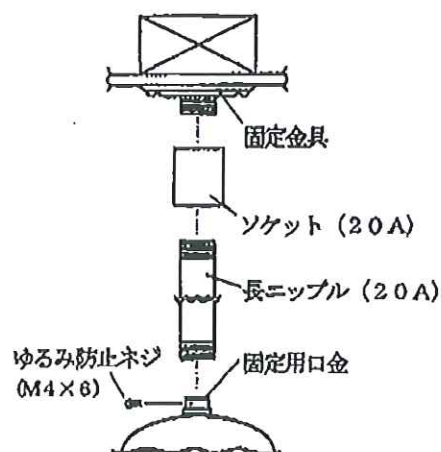
(HP-3F)

- (1) 固定金具を、取付ネジ ($\phi 5 \times 40$, $\phi 5 \times 25$ 各2本) を使用して、天井に垂直になるよう、確実に固定してください。
- (2) 固定金具に、固定用口金をねじ込み、確実に取り付けてください。
- (3) 固定金具と固定用口金をゆるみ防止ネジ (M4 $\times$ 6) を使用して、確実に固定してください。



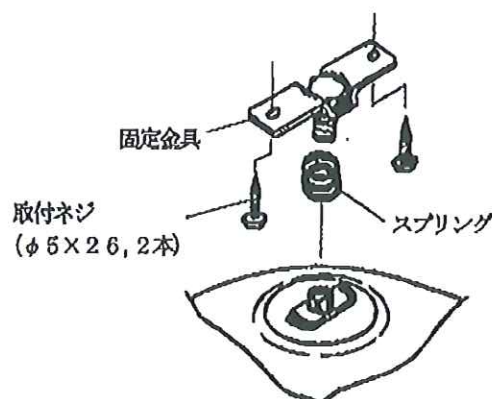
..... 取付高さを調節する場合 (HP-3F04)

- (1) 固定金具に、ソケット (20A) と長ニップル (20A) をねじ込み、垂直になるよう確実に取り付けてください。
- (2) 長ニップル (20A) に固定用口金をねじ込み、確実に取り付けてください。
- (3) 長ニップル (20A) と固定用口金をゆるみ防止ネジ (M4 $\times$ 6) を使用して、確実に固定してください。



(HP-1.5F)

- (1) 固定金具を取付ネジ ($\phi 5 \times 26$, 2本) を使用して、天井に垂直になるよう確実に固定してください。
- (2) 固定金具と本体容器の間にスプリングを入れて、垂直になるよう確実に固定してください。



固定金具の取付例

※ 固定金具にはHP-3F用とHP-1.5F用があります。

① 天井裏のハリに取り付ける場合

- 取付ネジを使用して、固定金具を天井裏のハリに垂直になるよう確実に固定してください。

(図3参照)

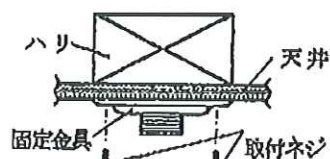


図3

② 天井（直接）に取り付ける場合

- 天井にハンディアンカー用穴を開け、ハンディアンカー（市販品）を使用して、固定金具を垂直になるよう確実に固定してください。（図4参照）

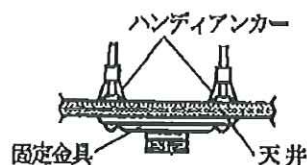


図4

③ コンクリートの天井に取り付ける場合

- コンクリートの天井にプラグ長さより深めの穴を開けプラグ（市販品）をコンクリートの天井に打ち込み取付ネジを使用して、固定金具を垂直になるよう確実に固定してください。

(図5参照)

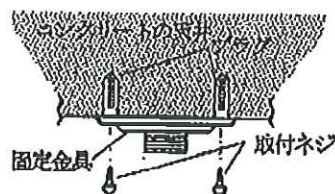


図5

- コンクリートの天井にプラグボルトの長さより深めの穴を開けプラグボルト（市販品）を使用して、固定金具を垂直になるよう確実に固定してください。

(図6参照)

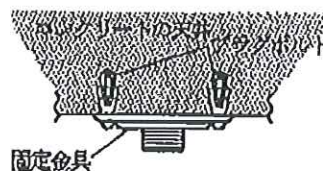


図6

④ 金属類の天井（直接）に取り付ける場合

- 金属類の天井に取付ネジ用穴を開け、取付ネジを使用して、固定金具を垂直になるよう確実に固定してください。

(図7参照)

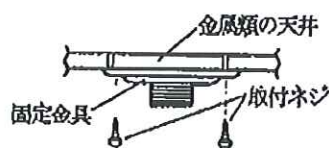


図7

設置後の確認

▲ 注意

- ◆ 熱感知ノズルが、火元と予想される場所の上に確実に固定されていることを確認してください。取付場所が異なっていたり、確実に固定されていないと、満足な性能が得られない場合があります。
- ◆ 指示圧力計の指針が緑色範囲内にあることを確認してください。範囲内でない場合は、十分な能力が發揮できず、放射されない場合があります。

指示圧力計

■：緑色範囲



○ 正常

× 異常

[単位: 1×10^{-1} MPa]

図8